

◆人権教育 同和問題

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	466	サンセット サンライズ	V	49	中高青教P一般	新しい時代感覚で民宿経営に取り組もうとしている女性の家族を舞台に、娘の危機を救ってくれた同和地区出身の青年と姪との結婚問題をめぐって、その家族や周囲の人々の戸惑いを描いている。この映画は、自分の生き方が差別のない明るい社会の創造につながることを訴えようとするもの。
人権教育	同和問題	467	あしたの足音	V	46	中高青教P一般	同和問題からおこる結婚差別を通して、「娘の幸せ」より「家柄」を優先させる父親が、家宝の茶碗の由来の嘘から本来の価値を見出すという内容になっている。陶芸家の「お父さんに僕という人間を認めてほしい。」という台詞や、「茶碗の由来よりもそのもの自体がすばらしいかどうか」という展開の中で、結婚差別がいかにつまらないか、恥ずべき行為であるかということ視聴者に理解させてくれる。
人権教育	同和問題	602	シャッターチャンス (アニメ)	V	25	高青一般	物語は、サラリーマンの家庭に育った高校3年生が主人公。彼は自分の進路に悩んでいたが、下町で伝統工芸の職人をしている叔父や、タイ人の叔母、同和地区出身の写真家の生き方等に接し、自分の価値観が正しいとかたくなに信じていた父親が、息子の進路問題に直面して、様々な生き方があることに気づく姿を描く。
人権教育	同和問題	603	人にいちばん近いまち (企画 福知山市)	V	58	高教一般	奥沢まき子(中3)は、中本ひとみ(中3)がいじめにあっているという噂を耳にした。ひとみとはクラスが変わった今でこそ疎遠になっているが、以前は親友であった。まき子は放っておけず、ひとみの力になろうとするが、ひとみはそんなまき子の行為を受け入れるどころか無下にはねつけ「まきちゃんの町内は誰もいじめられへんからいいわ」と言い捨て去っていく。
人権教育	同和問題	604	おばあちゃんありがとう	V	52	中教一般	差別で文字を奪われながらも、一生懸命生きてきたおばあちゃん。そんなおばあちゃんの生き方から人間としてともに生きる喜びと輝きを取り戻した家族や周辺の人々が、それぞれに新たな生活に旅立っていく。
人権教育	同和問題	605	旅立ちの夏	V	49	高教一般	
人権教育	同和問題	606	こころの架け橋	V	50	青一般	高木芳雄が家族を伴い、山間の実家に帰ると、見知らぬ若い男(鈴木信幸)がいた。彼は、都会からやってきて、父と同じ森林組合で働いていた。ある日、信幸が部落出身と知った芳雄たちは、父幹彦に詰め寄った。出自のことなど歯牙にもかけない幹彦は、信幸の考え方や生き方に共感できること、そういう若者が増えることが明るい未来を創造することになると、芳雄らに説いた。
人権教育	同和問題	607	雲が晴れた日	V	53	中高青一般	中学2年生の小林愛は、共稼ぎの両親と3人暮らし、そんなとき、祖母が脳卒中で倒れ、退院後の介護が問題になる。愛のクラスでは、交通事故で足が不自由になり、車椅子で登校する由希を置き去りにする事件が起き、話し合いが持たれた。由希は「特別扱いされたくない。みんなと同じように勉強して、自分で生きていく力をつけたい」と訴える。
人権教育	同和問題	608	明日にスウィング	V	50	青一般	ジャズ好きの大倉たちは、ジャズバンドをつくりたいと思い、トランペットが吹けるメンバーをさがしていた。そんなとき、島崎と恋人の由紀に出会う。数日後、バンド結成のパーティーの席で、島崎は自分が同和地区の出身であることや、由紀との結婚を反対されていることを告白した。この日を境に、バンドのメンバーが集まらなくなった。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	609	いのち輝く灯 (あかり) (アニメ)	V	48	中青一般	ツアーコンダクターの古賀奈津子は、同和地区出身を理由に反対される恋人がいた。ある時、交通事故で下半身不随となった奈津子は自暴自棄になる。その奈津子のもとに、水江昭吉から手紙が届く。そこには、戦争で失明した昭吉が絶望の中で見つけた「いのちの灯」のことが綴られていた。
人権教育	同和問題	610	勇気への出発 (たびだち)	V	52	青一般	営業課係長の湊川幸太郎と課長の桐生国夫はライバル。新人社員の麻生香奈は、雑用ばかりの仕事に女性差別を感じている。そして、同期の志田順一も、社内外で飛び交う差別的言葉に胸を痛めていた。ある日、幸太郎は、趣味の山登りで出会った緒方の経歴を知って偏見の目で見てしまう。しかし、香奈や元常務の安西の言葉に、心の中で何かが弾ける。
人権教育	同和問題	611	あかね雲	V	53	青一般	中学教師の玉村紘紗子は、自分が同和地区出身であることを子どもたちに話そうか悩んでいた。夫の賢造は、話す必要はないという。そんなとき、紘紗子の母が倒れ、家族みんなで実家に帰ることになる。そこで暮らす両親や取り巻く人々のたくましさ、やさしさに触れるなかで、紘紗子は子どもたちに告白する。
人権教育	同和問題	628	「部落の心を伝えたい」② 人の値うちを問う 一人権の詩人・江口いとー	V	25	青P一般	「人の値うち」の作者であるいとさんは、息子、孫と三代にわたり就職・結婚・学校現場での差別を経験し、解放の希いに生涯を賭け続けるという。その著「荊を越えて」の人生を克明に描いた人権ドキュメンタリー作品である。
人権教育	同和問題	629	「部落の心を伝えたい」③ あした元気になあれ 元気配達人・松村智広ー	V	27	中青P一般	2000年4月に、13年ぶりに中学校教師に復帰した松村さんがまず始めたことは、全校生徒を集めてのヒューマンタイムであった。学校へ一日も行くことができなかった祖母のトラさんも呼び入れ、子どもたちに自らのありのままの姿を晒した。
人権教育	同和問題	633	希望の春	V	54	中青P一般	高校進学を断念してバイクで遊び回っていた伸一と、難病を抱え死と直面しながらも希望を失わず周囲の希望に応えている隆志の友情と心の成長、そして二人を支える院内学級の教師の気づきを描く。
人権教育	同和問題	634	セピア色の風景	D	55	中青一般	交通事故に遭った父の「あの事・子ども達に…」とつぶやいたことを、息子の淳が母に尋ねるが返事がない。淳は父の本棚から見つけたセピア色の一枚の写真にある寺を捜しに京都へ旅立ち、父に妹がいることを初めて知る。
人権教育	同和問題	676	社会同和教育ビデオ教材 「子どもからのメッセージ〜 今、わたしたちから〜」	V	18	高教P一般	社会教育における各種学習会や学校教育における保護者啓発活動などにおいて、学習者の視覚に訴え、感性に働きかけることを通じて、差別意識解消への意欲を高めるとともに日常生活の中で実践的に人権意識を培うことを目的に制作されたビデオ。(香川県教育委員会制作 ビデオ・活用の手引き)
人権教育	同和問題	684	夢、空高く (アニメ)	V	41	小中青教P一般	自治会で行われる凧揚げ大会の準備に多くの人がかかわっていく中で、同和問題、親や子どもの自立の問題、いじめ、障害者の問題など考えさせる内容になっている。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	685	らくがき	V	35	中 青 教 P 一般	ある日曜日の早朝、夕日ヶ浜に魚釣りに来た明男(17歳)達は、駅のトイレで『ドウワノルナ』と書かれた差別落書を見つける。駅員は1時間前には落書はなかったのに、と悔しがる。明男達はバス停で待つ人達の中に犯人がいるのではないかと、釣りどころではなかった。
人権教育	同和問題	686	メール	V	54	中 高 青 教 P 一般	身に覚えのない中傷や同和地区出身であるなどと、ネット上の掲示板に書き込まれ、いわれもない非難と、一方では親友への自責の念に落ち込む主人公の女子高校生が、同級生やブラスバンドの仲間の応援、両親や周囲の大人たちの支えで、自ら立ち直っていく姿を描いている。
人権教育	同和問題	687	美しいメッセージ (アニメ)	V	27	中 青 教 P 一般	中二の純夏は、故郷の同和地区に診療所を開く叔母、絵理子の奮闘記を、地元のケーブルテレビで発表することにする。だが、母の絹代は、絵理子と純夏の「宣言」になることを思い反対する。
人権教育	同和問題	688	主語で語る人権教育	V	30	中 教	人権総合学習と「人権教育・啓発推進法」の実践に向けてのモデル教材。生徒数200名の三重県・大山田中学校の2000年4月から始まり、1年にわたる教育計画の下に行われる“全校ヒューマン・タイム”と名付けられた取組、多彩な講師を招いて、毎回、話を聞いた後に、タテ割りの班別討議を経て、行われる意見発表など実践を紹介している。
人権教育	同和問題	689	パースディレストラン	V	30	中 青 教 P 一般	2歳の時に両親が離婚して以来、パン屋を営む父親と祖母と暮らす中3の主人公が、父親の死によって、初めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでの姿を描いている。
人権教育	同和問題	741	同級生	V	30	中 青 教 P 一般	30年前、部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び同和差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いている。
人権教育	同和問題	742	元気をありがとう	V	53	中 青 教 P 一般	大阪少年剣道大会が近づいてきた。小学五年生の江口誠と八木稔も出場する。ふたりは同じクラスでライバルでもある。誠の父、雅也は大阪の薬品会社に勤務している。誠もその両親も、稔もその父も、雅也の甥の小児マヒで養護学校へ通う磯崎明彦も、クラスメートの小川弘美と母親も、ひとり暮らしの老人たちも、みんな一生懸命生きている。人と人が真剣に生きてぶつかりあう中から人の痛みがわかる心が生まれ、生きる喜びも生まれ、人と人との連帯感も育つ姿を表現した作品である。
人権教育	同和問題	743	おはようの音が響く街に!	V	54	中 青 教 P 一般	差別を受けながらも、希望を見だし、それを乗り越えて力強く生きていく三世代の家族、一方、差別をしてはいけないことと知りながら、世間体にかたまる両親の心を正していく高校生の家族、二つの家族の葛藤を描いている。
人権教育	同和問題	744	絵のある町	V	54	青 教 P 一般	

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	745	それぞれの明日	V	50	青教P一般	職場での現実的な差別の実態や同和問題を中心に据えながら、外国人問題、障害者問題等の人権問題を交え、それに立ち向かう人々の姿を描いている。
人権教育	同和問題	746	がんばるしきじ —和泉の識字—	V	24	教P一般	差別で教育の機会を奪われてきた人たちが、学習(識字)のためだけでなく、人と人とのふれあいを求めて一生懸命生きる姿が、外国人問題も踏まえ、明るく描かれている。
人権教育	同和問題	747	渋染一揆 (アニメ)	V	15	小中	岡山県における歴史的事実である渋染一揆をアニメーション化したもの。渋染一揆は、江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人間としての誇りをかけた要求を貫いた取組です。
人権教育	同和問題	763	ドキュメント 琴美の決意 —差別なき未来に向かって—	V	37	青教P一般	わが子の将来を考える被差別部落出身の若い琴美さんは、夫の太郎さんと共に、働きながら1歳6ヶ月になる男の子の子育てに懸命の毎日を送っている。琴美さんの両親は、家族の猛反対の中で結婚した。今も母の生家とは断絶したまま。中学生の時に差別文書事件を経験し、付き合いたいと思った人に受け入れてもらえなかった経験を持つ琴美さん。「差別をなくすには、差別を受けた側が訴えているしかない。」琴美さんは、わが子のためにも、勇気を持って自分の思いを語る。
人権教育	同和問題	776	同和問題の残された課題	V	13	教P一般	2002年4月同和对策事業の時限立法が切れました。同和对策事業が始まった30年、この間に何が変わって、何が変わらなかったか。長野、高知、大阪を取材し、部落差別の今を考える。
人権教育	同和問題	840	わたしたちの試み	V	一部 53 二部 54	中高青一般	16人の高校生が差別について本音をぶつけ合い激論するなか、対立や分裂を経ながら語り合った8日間のドキュメント作品。
人権教育	同和問題	841	「私」のない私 —同調と傍観—	V	30	中高青一般	両親の言いつけを守り、まじめに働く主人公は、周囲で起こる様々な事件の前で、「おかしい」と思いながらも、上司に睨まれることを恐れて「俺には関係のないこと」と流れに身を任せてしまうが。
人権教育	同和問題	842	人にいちばん近いまち2 —共に咲くよこび—	V	30	中高教P一般	不登校に悩む主人公が、同和地区の女性や古らとの交流を通して少しづつ心を開いていく。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	843	ラブレター	V	30	中高青一般	「人はみんな愛される資格がある」これがこの作品のテーマです。「私を大事にしてください。私もあなたを大事にしますから」こんなラブレターをもらったら、どうですか、それが地区出身者、在日外国人、からなら。
人権教育	同和問題	844	夢の約束	V	53	中高青一般	仕事に就くことができないで悩んでいる青年が登場し、採用されない理由は定かでないが、青年は本当の自分の姿を示そうとするが社会から認められない、それは、青年が同和地区の出身であるためでした。太鼓を通じて人々の心を結びつけたのは太鼓の演奏でした。
人権教育	同和問題	845	善良な人々	V	56	中高青一般	だれにもある日常の中に、しかも善意の中に存在する。それを疑うことから始まる。
人権教育	同和問題	846	ぬくもりの彩	V	36	青一般	突然、障害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれが同和地区に対する差別の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品。
人権教育	同和問題	847	「部落の心を伝えたい」 一峠を越えて― (第5巻)	V	25	中高青一般	森口健司さんは、こどもたちの心に響く同和教育を模索し、情熱をもって実践し始めました。そして、クラスの垣根を超えて学年全体で問題を語り合う、全体学習というこれまでにない新しい人権教育のスタイルを創り上げました。その実践を記録したものです。
人権教育	同和問題	862	残照の中で	V	40	青一般	人類が長い歴史の中で培ってきた人権の尊さ、この映画で描かれていることをヒントに、もう一度、一緒に見つめ直しませんか。「自分は果たして幸せだったのか。真実にいきてたのか」
人権教育	同和問題	865	そっとしておけば… 「寝た子を起こすなという考え方」	V	36	中青一般	ある市民劇団での出来事。「隠す」という意識をテーマに劇団員たちは自らの体験を振り返りながら「隠して生きる」ことの精神的負担や苦痛について語り合うが…。生まれたばかりの赤ちゃんは、部落差別の存在を知らず差別することも無い。そっとしておけば自然と差別はなくなるという意見に思わずうなずいてしまいそうになるが、そこに重大な落とし穴がある。
人権教育	同和問題	866	ラストからはじまる	V	53	中青一般	人と違っている事を恐れていた少年たちが、違いを認め合うことから、すべてが始まる事を知る物語。ムラ(部落)の人たちとのふれあいの中で、本当に相手の気持ちを理解することとはどういうことなのか。3人の中学生が関わり合う中で成長していく様子をドラマにしている、今までとはちょっとタッチの違う同和問題作品です。
人権教育	同和問題	867	更池の語り部・吉田小百合	V	30	青一般	なんで読み書きできへんねん…学校いかれへんから。なんで学校いかれへんねん…金ないからです。なんで金ないねん…仕事ないんです。なんで仕事ないねん…そこに部落差別があるからです。差別の中で生きてきた誇り、生いたち、子育て、命を慈しむ思いが綴られる。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	868	えせ同和行為排除のために	V	30	教P一般	えせ同和行為による被害は企業ばかりではなく、あらゆる場で起こりうる可能性があります。えせ同和行為を排除し、一日も早い同和問題の解決のために、研修や講演会で活用できる作品です。
人権教育	同和問題	869	いま、部落を語る若者たち	V	27	青教P一般	この作品では、「差別」された実感を経験として持っていない部落出身の若者や、NPO法人を立ち上げ部落のプラスの価値を積極的に模索する若者も登場します。今までの同和教育では、「部落」のマイナス面を強調することも多かったと言えます。しかし、部落のマイナスイメージを克服し、等身大のアイデンティティーを模索し始めた若者たちの姿を追うなかで、部落差別に向き合う手がかりを探しました。
人権教育	同和問題	929	今でも部落差別はあるのですか？ マイナスイメージの刷り込み	V 字幕	38	青教P一般	差別には見えるもの(実態的差別)と見えないもの(心理的差別)とがあります。同和地区の外で再生産される偏見・差別と忌避する気持ちという今日的な問題について、ドラマで提起し、解決の筋道を考えあうビデオです。
人権教育	同和問題	930	「部落の心を伝えたい」⑥ 差別っていったい何やねん 歩く水平社宣言・川口泰司	V	30	中青教P一般	世代を超えて伝えなければならない強い思いがある。差別のない社会を願い、懸命に生きてきた父や母、祖母、そして多くの先輩たち。シリーズ第6巻の主人公・川口泰司さんは26歳、その思いを語り継ぐ新世代である。差別の本質を追求し、自分の言葉とわかりやすい表現で語りかける川口さん。足元を見据えた日々の地道な活動に裏付けられたハートフルでエネルギー溢る講演は今、多方面から注目され多くの共感を呼んでいる。
人権教育	同和問題	931	ヒューマン博士と考えよう ～差別から人権の確立へ～ 夢と希望に満ちた未来のために...	V	28	中青教P一般	本作品は、日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人びとの生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人びとの歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげて頂くことを目的に制作された作品。
人権教育	同和問題	932	旅立ちの日に	V 字幕	40	小中青教P一般	私たちは障害のある人と接するときに、「障害があるからできないのではないか」という思い込みがあって、障害のある人の自立や社会参加を阻んでしまっていることがあります。この映画は、あるウェディングコーディネーターが、手作りの結婚式の企画に携わる過程で、登場するそれぞれの人の力で家族の問題や世間体の問題などを解決し、自分の心にある見えない障壁を壊し、「心のバリアフリー」を形成していく様子を描いています。
人権教育	同和問題	933	「人権ってなあに」 沖浦和光が語る被差別民が 担った文化と芸能	V	43	青教P一般	全国各地の数百にのぼる被差別部落を訪れ、伝承されてきた芸能と産業技術を研究してきた沖浦和光さん。この作品では、沖浦さんの研究成果をもとに、大阪、奈良、浅草に、被差別民衆が担ってきた芸能の歴史をたどっている。
人権教育	同和問題	953	人間の尊厳を求めて ー解放運動50年 森田益子ー	V	25	青教一般	森田益子さん、81歳。30歳で部落解放力運動と出会い、最前線で戦い続けてきた森田さんの信条と足跡を伝えます。人生を大きく方向付けた2人の人物の教えや仕事保障への取り組み、さらに仕事保障と福祉運動の融合である福祉施設「やさしい里」の建設などを伝え、人間の尊厳を求めてその貧しく苦しい生い立ちからまなび、人との出会いや長い闘いの中で身につけた理論と実践の成果を残した森田さんの姿を伝えます。
人権教育	同和問題	954	青春セイシュンのヒューマン・ ステージ	V 字幕	31	青教一般	演劇部員の子女子高校生。家に帰ると差別を乗り越えて結婚した姉が義父の差別発言が原因で戻ってきていました。そのことがきっかけで、同和問題と様々な人権問題の根っこのところでは同じだと学ぶのです。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	955	「部落の心を伝えたい」Vol.8 ぬくもりを感じて 刺激的ナイスガイ中倉茂樹	V	30	青教一般	警備会社で働きながら、年間70回に及ぶ講演活動を続けている中倉茂樹さん(29歳)は、「部落差別をなくすことに人生を賭けたい」と力強く語る。中倉さんには結婚を約束した女性がいる。しかし彼女の家族は部落出身であることを理由に結婚に反対しており、2人の悩みは深く重い。現在進行形の”結婚差別”をカメラは追う。
人権教育	同和問題	956	「部落の心を伝えたい」Vol.9 私からはじまる人権 子どもに伝える 柴原浩嗣・宮前千雅子	V	27	青教一般	大阪府人権協会の人権啓発部長の柴原浩嗣さんと、大学で人権問題の講座を担当する宮前千雅子さんは1993年に結婚。2人の人権問題に深く関わる生き方を伝える。柴原さんが行う参加型スタイルの研修や宮前さんの大学での「人権問題論」講義の内容、そして子を持つ父として母としての取組みの様子を伝える。仕事の上で、生活の場で、2人の共通のテーマはまさに「私からはじまる人権」の実践であり、「そしてあなたは？」の問いかけである。
人権教育	同和問題	957	「部落の心を伝えたい」Vol.10 えびす舞に思いをのせて でこまわしを復活 辻本一英	V	28	青教一般	辻本一英さん(55歳)は被差別民の生活文化や伝統芸能の調査研究と掘起こしの取組をライフワークとしている。この作品では辻本さんが直面した被差別体験や部落のマイナスイメージをそのまま呑み込んだ高校時代を紹介し、やがて同和教育と出会った辻本さんの部落解放運動の取組みを伝える。かつて被差別民が担い、高度経済成長期に境にほとんど姿を消してしまった正月の祝福芸と大道芸を復活させた辻本さんは、講演会で「差別の不合理」と「被差別民のアイデンティティ」をその復活の経緯を語りながら解説する。
人権教育	同和問題	975	差別意識の解消に向けて 第1巻:人権のまちづくり	V	29	青P一般	宅地建物取引に関して「同和地区であるかどうか」「同和地区と同じ校区にあるかどうか」という情報が確認されるなどの差別行為があとを絶ちません。差別意識及び宅地建物取引における土地差別をなくすために、第1巻は一般向け、第2巻は企業向け、第3巻は行政向けとして制作されたものうちの、第1巻です。(企画は大阪人権問題映像啓発推進協議会:大阪府・大阪府内市町村・大阪府教育委員会他)
人権教育	同和問題	976	大地の母きくゑ	D	32	中高青教P一般	差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いてきたきくゑ。生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会で役立つこととなり、80歳すぎた今でも、きくゑの活動はとどまることを知りません。大正に生まれ、差別と闘い、昭和・平成と生きてきた一人の女性の心温まる感動のドキュメンタリードラマです。
人権教育	同和問題	977	部落の歴史 (中世～江戸時代) －差別の源流を探る－	V・D 字幕	27	青教P一般	小、中学校の教科書から、「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載が、ほとんど消えてしまいました(2001・2005年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためです。この大きな部落史観の転換を受け、このたび作られた作品です。
人権教育	同和問題	978	部落の歴史(明治～現代) －近代化が存続させた差別－	V・D 字幕	26	青教P一般	小、中学校の教科書から、「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載が、ほとんど消えてしまいました(2001・2005年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためです。この大きな部落史観の転換を受け、このたび作られた作品です。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	979	紡ぎだす未来 ー共に生きるー	V・D 字幕	35	高青教P 一般	住宅販売会社で働く佐藤晃は、ある日、父親から祖父が部落出身だったことを告げられる。部落に行ったこともない、部落問題についてほとんど知識もない自分が「部落出身者」……。自分の知らないところで調べられ、結婚や就職のとき、いつ、どこで、誰に差別されるかもしれない。とまどう晃は初めて差別される不安を感じ、身近にいた「被差別当事者」の感じるプレッシャーに想いを馳せる。部落出身であることを隠してきた祖父。本名を名乗りたくても日本社会に同化することを強いられている在日の知人。自分が部落出身者として差別される不安はある。けれど、自分を否定するのではなく、偏見や差別と向き合い、共に生きる社会を紡ぎだせれば……。これまでの自分を振り返った晃は、在日の知人にこれからは本名で呼ばせてほしいと申し出ること、自ら一歩踏み出すのでした。
人権教育	同和問題	1024	「部落の心を伝えたい」 ビデオシリーズ 第11巻 あすなろを生きるー野上早苗ー	D	26	一般	40年以上も続く福岡の「あすなろ解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学び合い、話し合い、笑い、涙する。代表の野上早苗さん(58)が語る、一人からはじまる解放運動とは。 <H21年>
人権教育	同和問題	1025	同和問題と人権 ーあなたはどう考えますかー	D	28	一般	会社でセクハラなどの人権問題を担当する大月友一は、両親の体験を聞き、部落差別、同和問題について知識を深めていく…。同和問題について考えるアニメーション作品です。 <H20年>
人権教育	同和問題	1061	部落の心を伝えたい 第18巻 無知を許さず ～連続大量差別はがき事件 ～ 浦本誉至史	D 字幕	30	高青教P 一般	浦本誉至史さん(47)が体験した差別事件の真相とは？また、研究者として、江戸の被差別民衆から学んだものとは？「無知」をキーワードにあらゆる人権問題の本質に迫る。
人権教育	同和問題	1062	部落の心を伝えたい 第19巻 差別を許さない自分づくり ～寝た子を起こして30年～ 長谷川サナエ	D 字幕	26	高青教P 一般	「寝た子を起こすな」の風潮が根強く残る新潟で、しかも女性という立場で、30年に亘り解放運動をリードしてきた長谷川サナエさん(66)その曲げない生き方を見つめる。
人権教育	同和問題	1063	部落の心を伝えたい 第20巻 52歳の立場宣言 ～なかまがいれば人は変わる ～ 岡潤爾	D 字幕	26	高青教P 一般	岡潤爾さん(52)は、牛馬の皮剥ぎ職人として生きてきた。今、熊本で部落解放運動のリーダーを務める。6年前の差別事件を契機に自己を解放、「本音で語り、共感し、本気で動く」日々である。
人権教育	同和問題	1074	私の中の差別意識 部落差別問題から考える	D 字幕	24	中高青教P 一般	部落問題を通して、なぜ差別は残るのか？その原因から、解決への道をドキュメンタリーを通して探ってゆきます。自分のなかにある差別意識を問うきっかけとなる作品です。
人権教育	同和問題	1085	あなたに伝えたいこと	D 字幕 副音声	36	高青教P 一般	この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。同和問題の解決を図るため、30年以上にわたって地域改善対策が行われてきました。その結果、生活環境などハードの面の改善は進みましたが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されています。また、時代の経過とともに、同和問題についての正しい理解を得る機会が少なくなっています。そんな中、この作品は同和問題を正面から取り上げ、描きます。この物語の主人公は、ごく普通の若い女性です。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などとの関わりを通して、ネット上の情報だけではなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題や全ての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	同和問題	1091	太郎のかがみ	D	56	小中高青教P一般	「差別されるってどんなに辛いことか」また「知らず知らずの内に人の心を傷つけてはいないだろうか」・・・。部落差別と障害者に対する差別の問題を子供たちと一緒に考えながら学習していく、人権啓発ドラマである。
人権教育	同和問題	1098	そんなの気にしない	D	17	中高青教P一般	この作品は、二人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知って欲しかった。告白されたほうは相手が、そのままの相手でも何も変わらないことを伝えたかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます。プラスのイメージを持っていることに、人は「気にしない」とは言いません。「気にしない」という言葉の底には、そのことをマイナスに見る意識があるのかもしれない。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして、壁を乗り越えるのもまた、相手を信じる力だということを作品で伝えたいと思います。
人権教育	同和問題	1100	第5巻 渋染一揆を闘いぬいた人々	D	18	小中高教	渋染一揆が起こった背景や実際の一揆の経緯を描き、人権を守るために力を尽くした人々の生き方、それを支えた人々の姿を伝えることで、人権尊重の意義を考えさせる教材です。
人権教育	同和問題	1101	第6巻 日本国憲法と部落差別	D	17	小中高教	日本国憲法は、アメリカに押しつけられたものではなく、日本人が自ら草稿を手に入れ、作り上げたものでした。そして、日本国憲法こそが、人権を守る宣言そのものなのです。憲法制定の当時の状況を解説しながら、憲法と人権を考える教材です。